

# 一般質問



**教育委員長** 今年度、小学校には

20人、中学校には2人の計22人の支援員が配置されています。公立幼稚園には6人の園児介助員を配置しています。就学支援委員会、指導主事、学校からの報告をもとに総合的に判断して、必要性の高い順に配置しています。年度途中からでも、学校から要請があり、配置が必要と判断した場合には支援員を配置します。

**質問** 義務教育終了後の子どもたちへの支援は意外と少なく、家庭で対応している状況です。高校入学後不登校になったり、退学して無職となる等、これらの青少年への支援策について伺います。

**市長** 義務教育終了後は、高等学校との情報交換や市の相談窓口での対応となっています。今年4月から子ども若者育成支援推進法が施行されました。既存のネットワークを活用しながら支援体制づくりに力を入れていきます。

○前沢図書館の老朽化について  
○新市長の財政運営に対する考え方について



せき しょうこ  
関 子

**質問** 昭和38年に体育館として建築され、現在図書館として使われておりますこの建物は、47年経過しており、床下の排水状況が悪く、シロアリの発生が確認され、柱等が空洞化しており、また床が落ちる等して改修を重ねながらきております。対策は急を要すると思えますが市長の考えを伺います。

**市長** 緊急かつ重要な課題としてとらえております。前沢総合支所庁舎再配置検討委員会を設置し、庁舎1階を図書館スペースにする案が出ており、検討を進めた経過があります。課題を先送りすることなく、区民の合意を取り付けながら、一刻も早く対応してまいります。

**教育委員長** 重要な課題として認識しております。図書館未来プロジェクトの報告書にもありますとおり、早速、内部の検討チームを組織し、積極的に進めてまいります。

重要な課題として認識しております。図書館未来プロジェクトの報告書にもありますとおり、早速、内部の検討チームを組織し、積極的に進めてまいります。



シロアリに食べられた用紙  
(前沢図書館事務室)

**質問** 合併前から大きな課題を抱えている奥州市の財政運営について、市民の皆さまとともに、新市長の手腕に期待するものですが、市長の財政運営の基本的考えと、健全化をどのように進めていこうとしているか考えを伺います。

**市長** 合併前の課題、競馬、水沢病院、土地開発公社の件については、先送りされてきたものであり、短期的に解決するのは難しいと考えております。競馬事業につきま

しては継続する形で考えております。合併メリットのある交付税の算定替(減額)になる前に道筋を立てたいと思っております。基金(積立)を充実させ、合併効果を出せるよう、市民の皆さまの協力をいたしながら、努力してまいります。

合併前から大きな課題を抱えている奥州市の財政運営について、市民の皆さまとともに、新市長の手腕に期待するものですが、市長の財政運営の基本的考えと、健全化をどのように進めていこうとしているか考えを伺います。

○少子人口減少対策について  
○特産品開発について



えんどう さとし  
遠藤 敏

**質問** 奥州市の子どもが減り続けていますが、市はこのことにもっと危機感をもつべきです。結婚問題は、個人のプライバシーの問題ではあります。奥州市の未来を守るためにも、希望をもって若者への支援に本気で取り組むべきと思えますが伺います。

**市長** 今年は、結婚に関わる課題の掘り起こし、課題の解決について市民、関係者、団体と話し合い、現代の結婚事情について理解を深める機会や研修の場を設け、まずは出会いの場を応援する人材の育成に積極的に取り組みます。

**質問** 漆製品が出土した縄文遺跡が東北地方に集中し、江戸時代の盛岡藩、仙台藩の漆の産地別明細の存在等、この地が古来より漆の生産適地であったと思われる、それが強大な権力と繁栄を誇った平泉文化に生かされ、増沢塗や南部鉄器、岩谷堂筆筒となって現代に受け継がれています。

奥州市の子どもが減り続けていますが、市はこのことにもっと危機感をもつべきです。結婚問題は、個人のプライバシーの問題ではあります。奥州市の未来を守るためにも、希望をもって若者への支援に本気で取り組むべきと思えますが伺います。